

(1) 落雷・豪雨等への対応

①前日まで	
委員長 運営責任者	<p>●気象状況をインターネット等で確認</p> <p>→危険が予測される場合、試合方法変更や日程変更（中止・延期）の想定を行う。 変更が必要な場合は前日のうちに判断し、ホームページ等で連絡する。</p>
②当日試合開始前	
委員長 運営責任者	<p>●気象状況をインターネット等で確認</p> <p>→危険が予測される場合、試合方法変更や日程変更（中止・延期）の判断を行う。</p> <p>→会場に集合させるべきではないと判断した場合、ホームページ等で連絡する。 会場に集合させた場合、開会式等で安全管理徹底を呼びかける。</p>
③当日試合開始後	
委員長 運営責任者 各会場運営係	<p>●気象状況をインターネット等で適宜確認</p> <p>→危険が予測される場合、試合方法変更や日程変更（中止・延期）の判断を行う。</p> <p>●落雷・豪雨等発生</p> <p>→雷鳴が聞こえた場合は躊躇なく試合を中断させ、<u>生徒及び関係者を安全な場所（室内の待機所が確保できることが望ましい）に避難させる。</u> <u>雷鳴が収まってから30分が経過するまでは試合を再開させない。</u></p> <p>→豪雨の場合は試合を中断させ、生徒及び関係者を安全な場所（室内の待機所が確保できることが望ましい）に避難させる。</p>

(2) 熱中症対策

①前日まで	
委員長 運営責任者	<p>●気象状況をインターネット等で確認</p> <p>→【熱中症警戒アラート】が発令される等の危険が予測される場合、試合方法変更（試合数削減、試合方法短縮、レスト確保等）の想定を行う。変更が必要な場合は前日のうちに判断し、ホームページ等で連絡する。</p> <p>→前日の睡眠や当日の朝食・水分補給・帽子着用等の重要性について、専門部ホームページ等で注意喚起する。</p>
各校顧問	<p>●気象状況をインターネット等で確認、専門部ホームページ等の連絡を確認</p> <p>→各校顧問は生徒の体調チェックを行い、睡眠・栄養補給・水分補給について注意喚起する。</p>
②当日開始前	
委員長 運営責任者 各会場運営係	<p>●気象状況をインターネット等で確認</p> <p>→【熱中症警戒アラート】が発令される等の危険が予測される場合、試合方法変更（試合数削減、試合方法短縮、レスト確保等）の判断を行う。開会式等で安全管理徹底を呼びかける。</p>
各校顧問	<p>→各校顧問は生徒の体調チェックを行い、栄養補給・水分補給について注意喚起する。</p>

③当日開始後	
委員長 運営責任者 各会場運営係	<p>●気象状況をインターネット等で適宜確認 →【熱中症警戒アラート】が発令された場合、状況に応じて試合方法変更（試合数削減、試合方法短縮、レスト確保）や日程変更（中止・延期）等の判断を行う。</p> <p>●試合中、本部で暑さ指数（WBGT）を1時間毎に計測する*。 特に、気温 35℃または暑さ指数(WBGT)31℃に達した場合は、試合方法変更（試合数削減、試合方法短縮、レスト確保）や日程変更（中止・延期）等の具体的な対応を行う。</p> <p>→可能な限り生徒が待機できる日陰の待機所を確保し、特に試合間についてはレストを十分に確保させる。各会場運営係は氷や冷却剤等を常備しておく。</p> <p>→応援生徒や観客に対しても、放送や掲示等で熱中症対策を呼びかける。</p>
各校顧問	→各校顧問は適宜生徒の体調チェックを行い、栄養補給・水分補給について注意喚起する。

※暑さ指数の測定方法

黒球を日射に当てる／地上から1m程度の高さで／壁等の近くを避ける（風が通る場所で）

(3) 対応および連絡体制 ※必ず委員長および運営責任者に連絡をしてください。

①災害（荒天・地震等）対応	
委員長 運営責任者	<p>中止・延期・再開・代替案の採用等の決定</p> <p>→各校顧問へ連絡</p> <p>→必要な場合、委員長は高体連事務局に報告</p>
②事故（急病者・負傷者等）対応	
委員長 運営責任者	<p>救急搬送の必要性の決定</p> <p>→医療機関へ連絡</p> <p>→必要な場合、委員長は高体連事務局に報告（事故報告書・緊急対応報告書）</p>
各校顧問	保護者連絡・各校校長連絡

(4) その他

「雷探知機」8台、「暑さ指数（WBGT）測定器」4台を各地区に分配し、各大会で使用する（R6年度テニス専門部予算で購入）。

①雷探知機…東部地区：2 西部地区：2 南部地区：3 北部地区：1 で分配

②暑さ指数（WBGT）測定器…東部地区：1 西部地区：1 南部地区：1 北部地区：1 で分配

※令和7年度追加購入予定